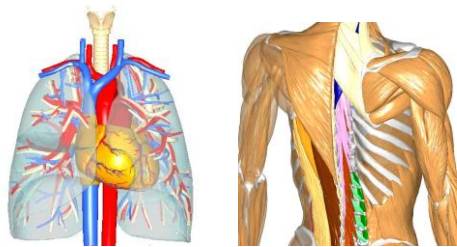


BodyParts3D / Anatomography

(<http://lifesciencedb.jp/bp3d/>)



○ BodyParts3D / Anatomography とは

BodyParts3D (ボディパーツ 3D) は、人体各部位の位置や形状を 3次元モデルで記述したデータベースです。Anatomography (アナトモグラフィー) を使って、BodyParts3D から解剖学用語を選択し自由に人体のモデル図を作成することができます。作成した図は、変更して使用・公開することが可能です。

○ 2010年4月28日リリースのおもな変更点

- ・ 3次元人体モデルの改良と追加
胸部モデル (骨格・循環器系・呼吸器系) を改良し、新規に筋肉を追加しました。
- ・ Anatomography インターフェースの機能拡張
マウス操作だけで臓器の回転・移動・拡大縮小・選択ができるようになりました。選択した臓器はその名称が表示されます。

○ BodyParts3D / Anatomography の特徴

- ・ 解剖図譜の作成
臓器名／色／透過率／視点を指定すると、人体の局所もしくは全体図の画像を返します。
- ・ 解剖図譜をパーマリンクで保存
画像作成サーバは臓器名・表示条件・視点の 3つのパラメータを含んだ動的 URL を入力としていますので、パーマリンクとして保存することやサイトへコピーすること、プログラムへ埋め込むことが自由に行えます。
- ・ 3次元人体モデルのダウンロード
作図に使用している全臓器の 3次元モデル (計 1413 臓器) は、ダウンロードして自由に利用できます (Wavefront OBJ [*obj] 形式または STL [*stl] 形式)。

○ 利用例

- ・ 医学コミュニケーションに。たとえば、解剖学教育の補助や医学用語辞書として利用できます。
- ・ 論文やパンフレットの図を作成する際に。Wikimedia Commons に登録された図がテレビ番組などでも使用されています。
- ・ 臓器別の遺伝子発現データやがん死亡数などを BodyMap3D にマップすると、人体ヒートマップとしてデータを可視化できます。

○ 今後の開発予定

- ・ BodyParts3D の中枢神経系 (脳) モデルの改良と詳細化を進めていきます。

○ ご質問やご意見はこちらまで info@dbcls.rois.ac.jp

参考) Mitsuhashi, N., et al., (2009). BodyParts3D: 3D structure database for anatomical concepts. *Nucl. Acids Res.* 2009 37:D782-D785.

(2010年5月現在)